

科目名	病 害 虫 管 理 学	教員名	はちや かずひこ 八谷 和彦	開 講 コース	作物生産 花 園 芸	1 年 次	後 期
<p>・目的と内容</p> <p>病害虫防除技術は農業の近代化とともに発達を続けている。また、近年は、食の安全・安心や環境問題への関心が高まるとともに、栽培方法の変化や外来病害虫の増加などによって、病害虫の発生様相も多様化している。こうしたことから、病害虫に対しては、単に農薬を施用するのではなく、高度な知識を持って、多様な防除手段を組み合わせる総合的病害虫管理（IPM）が現代の病害虫対策の基本となっており、クリーン農業の基本ともなっている。</p> <p>そこで、この講義では、応用昆虫学と植物病理学の基礎、耕種的、物理的、生物学的および化学的防除法、農薬の基礎知識と功罪、発生予察技術や要防除水準の考え方、各作物の具体的な病害虫管理法、などを総合的に学ぶ。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：2 単位、授業週数：15 回]</p> <p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作物保護とは何か 2. 有害生物の分類と種類 3. 昆虫の生理・生態・生活環 4. 昆虫の形態・行動、作物の被害様相、主要作物の重要害虫種 5. 作物の病害とは、病害の種類と特徴 6. 病原体の伝染・作物侵入・発病 7. 病原体の伝染環、作物の病徴とその識別、主要作物の重要病害 8. 前半のおさらい、中間試験 9. 病害虫防除の歴史、4つの防除技術（耕種的、物理的、生物学的、化学的防除法） 10. 総合的病害虫管理（IPM）とは 11. 被害解析、要防除水準、防除暦、発生予察 12. 農薬の種類と性質 13. 農薬の施用法、農薬が持つ長所・短所 14. クリーン農業における主要作物の病害虫防除法 15. 後半のおさらい、期末試験 							
<p>・講義の進め方</p> <p>教科書を使って講義を進める。また、随時、パワーポイントを映写したり、プリントを配布する。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>中間と期末の計2回、記述式の試験を行い、これに出席状況を加味して、成績評価をする。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>作物も昆虫も微生物も、複雑で微妙な農業生態系の一員であることを学んでほしい。また、病害や害虫の種類は多様であり、その防除手段も実に多様であることや、農薬にもたくさんの種類があって性質が全く異なり、病害虫防除が単純なものではないことをしっかり学んでほしい。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：『病害虫・雑草防除の基礎』大串龍一著（農山漁村文化協会）2007 参考書：『北海道病害虫防除提要』北海道植物防疫協会編（北海道植物防疫協会）2004 『植物防疫講座（病害編、害虫・有害動物編）』植物防疫講座第3版編集委員会（日本植物防疫協会）2003</p>							